

地方創生を巡る国とシンクタンク両方の議論の場に参加して

国

「まち・ひと・しごと創生本部」KPI評価チーム

人口減少・少子化・高齢化の進行
東京一極集中

更なる取組が必要

まち・ひと・しごと創生基本方針2019
第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

シンクタンク

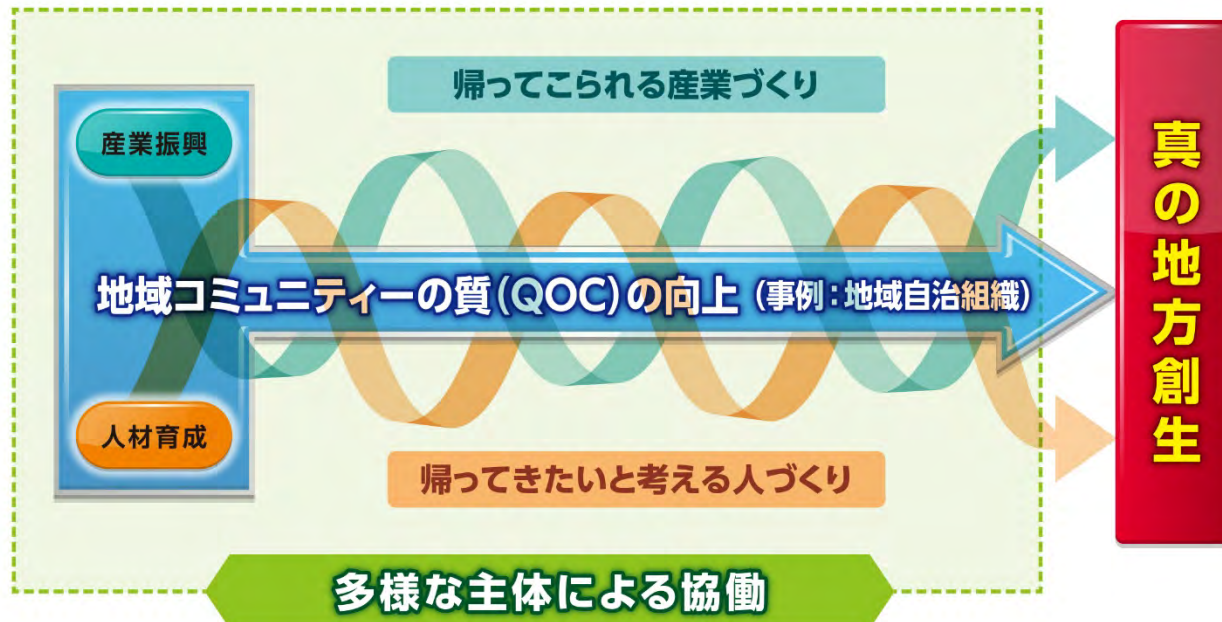
一般社団法人日本経済調査協議会
住民による住民のための持続的・地方創生を考える委員会
地方財政の持続可能性の向上
一方で地方の多様性や住民のつながりの希薄化

国の地方創生策の課題を指摘

『人生100年時代の地方創生』
～住民による住民のための持続可能な地域創生とは～【報告書】

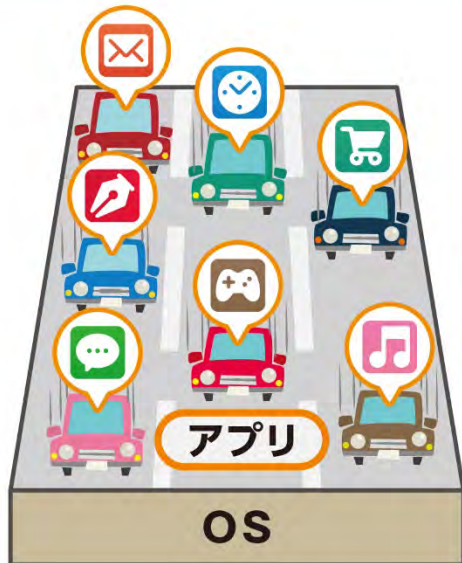
地域住民が望ましいと考える社会の姿や、それを支える経済的資源、政策、それらの実現可能性を客観的に考察し、今後の方針を示す必要がある。

次期「地方版総合戦略」



真の地方創生モデル実現のために

コンピュータの世界



★PCやスマホタブレット上では様々なアプリが搭載され、機能を発揮している。

機能向上を目指して動作検証をいくら繰り返しても、OSがしっかり機能していないとアプリはその機能を十分発揮させることはできない。

QOC(Quality of Community) = コミュニティの質

地域コミュニティの質を上げる3要素

- ① 主体的参画
- ② 自治性
- ③ 価値観の共有



政策・事業とコミュニティの関係



★OSに当たるコミュニティが弱い弱いためアプリに当たる政策の本来の効果が発揮されない。

まずは基盤としてのコミュニティをしっかりと育むことが必要

QOCの向上

★OSに当たるコミュニティがしっかりしているためアプリに当たる政策が成果を上げる。

真の地方創生モデルの実現



QOC向上による相乗効果



QOCの向上 事例：地区基本構想の策定

地区住民自らが地域をデザインする地区基本構想を全20地区で策定。

- 地域住民自らが、地域の将来像を共有し、その実現に向けた構想・計画を策定
- 各地区の基本構想に基づき、地域の特色を活かしつつ、多様な主体の協働による様々な取組を通じて、将来像の実現を目指す

